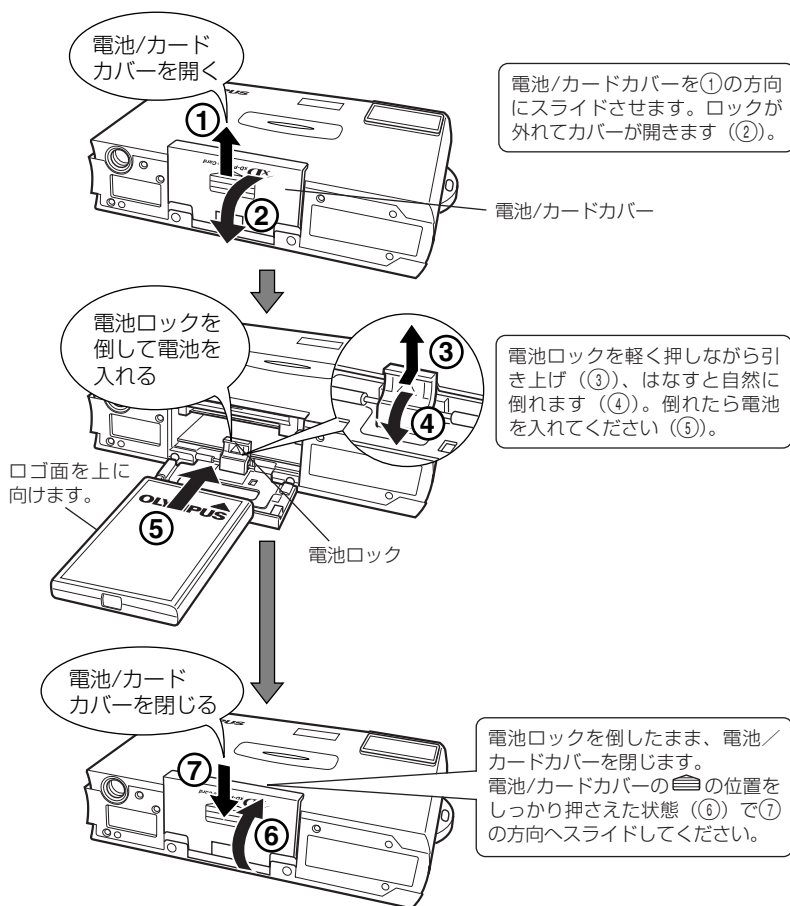
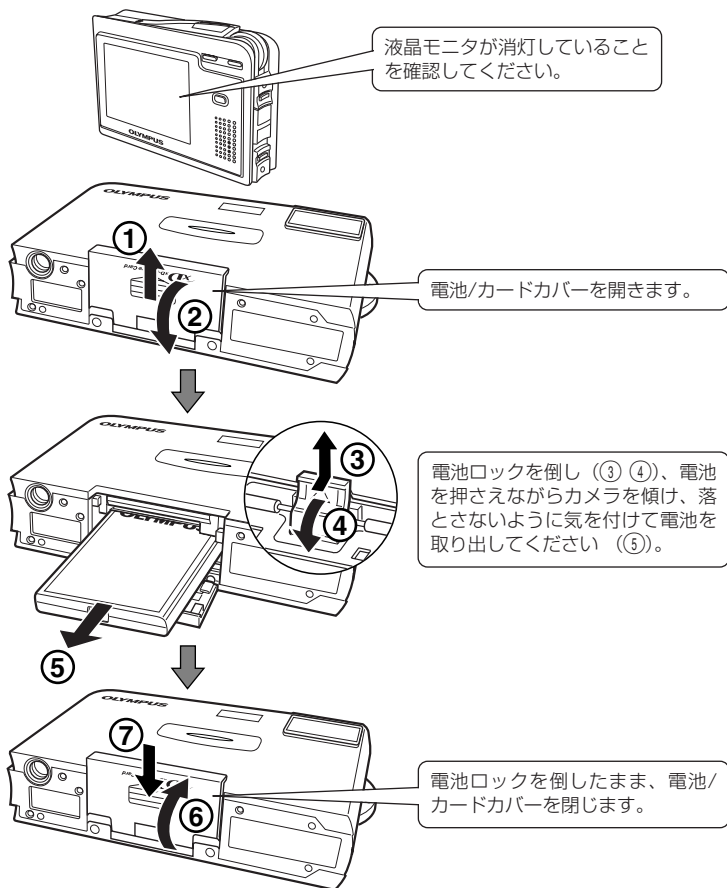
レンズキャップ・ストラップを取り付ける

ストラップについての注意

- ストラップを取り付けた後、必要以上に引っぱらないでください。ストラップが切れる場合があります。
- カメラをストラップで下げているときは、他のものに引っかかったりしないように、注意してください。けがや事故の原因となることがあります。
- 手順にしたがってストラップを正しく取り付けてください。万一、誤った取り付けによりストラップが外れてカメラを落とすなどした場合、損害など一切の責任は負いかねますのでご了承ください。

電池を入れる

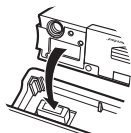
電池は専用のリチウムイオン電池（LI-20B）1個を使用します。それ以外の電池は使用できませんのでご注意ください。

● 長時間使用する場合は、予備電池（別売）のご用意をおすすめします。

電池を取り出す

電池についての注意

- 電池を外して約1日放置すると、日付と時刻は初期状態に戻ります。電池交換後は、必ず日時設定をご確認ください。☞P.126
- デジタルカメラは動作状態により、消費電力が大きく変わります。消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告（☞P.21）が表示されずにカメラの電源が切れる場合があります。

電池を充電する

電池は専用のリチウムイオン電池（LI-20B）1個を使用します。それ以外の電池は使用できませんのでご注意ください。

お買い上げの際、電池は十分に充電されていません。ご使用の前に付属のクレードルとACアダプタを使って充電を行ってください。
充電は、カメラに電池を入れた状態で行います。

パソコンへの画像のダウンロード、プリンタへの出力など、時間がかかる作業をするときは、ACアダプタのご使用をおすすめします。☞「付属品について―ACアダプタ」（P.188）

海外でのご使用について

ACアダプタを海外でご使用の場合は、その地域の電源コンセントの形状に合った変換プラグが別途必要になります。変換プラグについては、旅行代理店などにご相談ください。

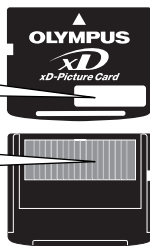
電池の充電についての注意

- 別売の充電器（LI-20C）も使用できます。専用の充電器以外は使用しないでください。
- 「安全にお使いいただくために」（☞P.12）および「付属品について― ACアダプタ」(☞P.188）を必ずお読みください。

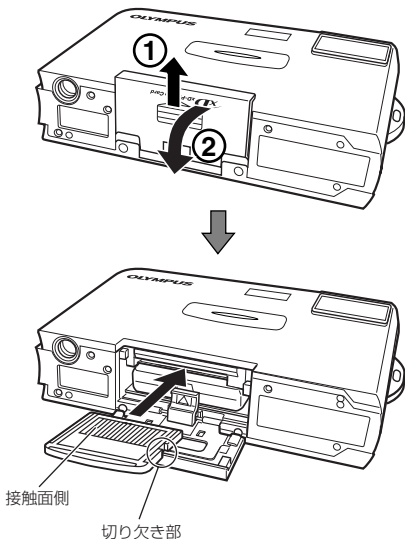
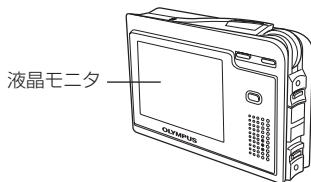
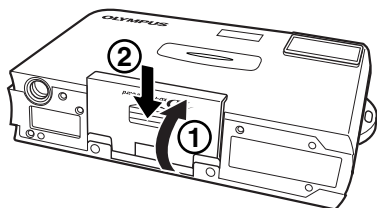
カードを入れる

本書では、xDピクチャーカードを「カード」と呼びます。このカメラで撮影した画像は、カードに記録されます。

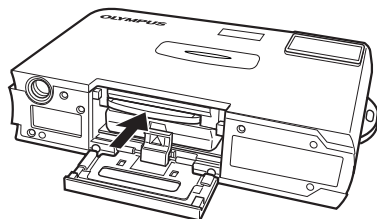
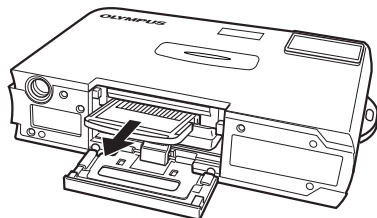
インデックスエリア
カードに保存されている内容がわかるように、ここに記入できます。

接触面（コンタクトエリア）
カメラの電気接点が接触する部分です。

使用できるカード
• xDピクチャーカード（16～512MB）

1 液晶モニタが消灯していることを確認してください。

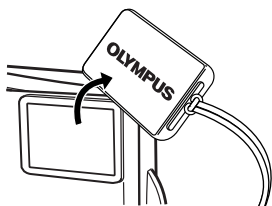
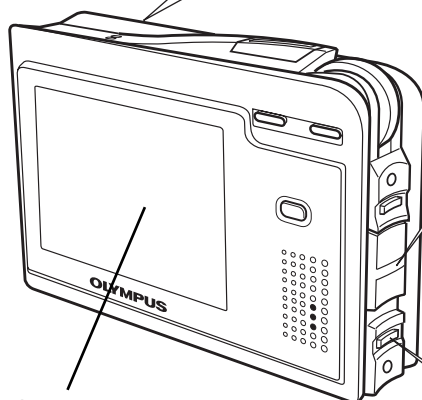
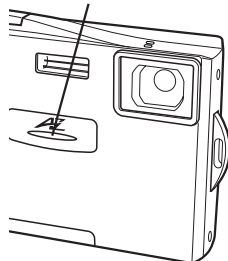
2 図のようにカードの向きを確かめてカードを入れます。

• カードが斜めに入らないようにまっすぐに差し込みます。
• カードを奥まで差し込むと、カチッという音がしてとまります。
• カードの向きを間違えたり、斜めに入れた場合、接触面が破壊されたり、カードがカメラから抜けなくなることがあります。
• カードが奥まで挿入されていないと、カードに記録できないことがあります。

カードを取り出す

1 液晶モニタが消灯していることを確認してください。

2 カードを一度奥に向かって押しこんで、そのままゆっくり戻します。

3 カードをつまんで取り出します。

カードを取り出す際、カードを押した指をすぐにはなしたり、指ではじくようにすると、カードが勢いよく飛び出すことがあります。

! カードについての注意

「付属品について ー カード」(☞P.189) を必ずお読みください。

電源を入れる／切る

電源を入れたまま約10分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐために自動的に電源が切れます。ACアダプタを使用しているときは、電源は切れません。

これで準備ができました。まず撮影してみましょう。☞ P.29